
 **地元生産組合による耕作放棄地の解消** 

いくじ
黒部市 生地地区

状 況

放棄の理由：離農・高齢化による労働力不足等

荒廃の程度：雑草・雑木が繁茂し、人力及び農業機械による再生作業が必要

取組概要

対 象 面 積：0.54ha(水田)

実 施 期 間：平成24年4月～平成24年12月

取組のきっかけ：地域耕作放棄地対策協議会が生地地区を解消重点地区に位置づけるとともに、マコモを栽培している地元生産組合に解消の取り組みを働きかけたところ、平成22年度より継続的な解消活動が行われている。

取 組 主 体：生地西部生産組合

作 業 内 容：美しい農村景観整備事業を活用した、草刈りや雑木伐採等の再生作業を行った。

今後の予定

取組主体が中心となり、一部農地についてはマコモを栽培するとともに、継続的な保全管理を行うこととしている。



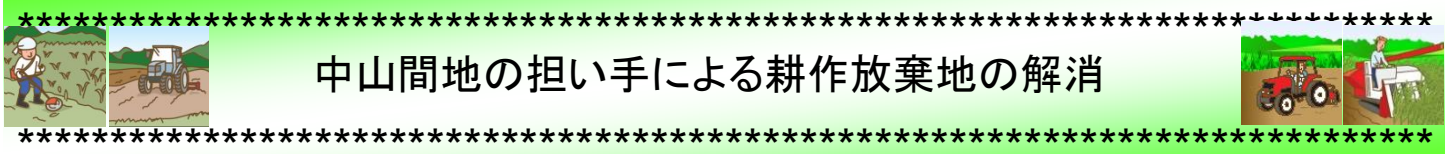
再生作業前



草刈り作業



再生作業後



中山間地の担い手による耕作放棄地の解消

こば 富山市 小羽地区

状 況

放棄の理由：離農・高齢化による労働力不足等
荒廃の程度：雑草・灌木が繁茂し、人力及び農業機械による再生作業が必要

取組概要

対 象 面 積:0. 33ha(水田、畑)
実 施 期 間:平成24年8月～平成24年10月
取組のきっかけ:美しい棚田の農村景観を取り戻そうと、取組主体自らが県耕作放棄地対策協議会に解消に向けた相談を行い、平成22年度より継続的な解消活動を行っている。
取 組 主 体:(有)土遊野
作 業 内 容:耕作放棄地再生利用緊急対策交付金を活用した、草刈りや灌木伐採等の再生作業後に、そばの作付を行った。

今後の予定

取組主体は、化学肥料や化学合成農薬を使用しない農法にこだわりを持っており、今後とも継続的にそば等の栽培を行うこととしている。



再生作業前



草刈り作業



再生作業後

企業との連携による耕作放棄地の解消



うなみ

氷見市 宇波地区

状況

放棄の理由：離農・高齢化による労働力不足等

荒廃の程度：雑草が繁茂し、人力及び建設機械による整地作業が必要

取組概要

対象面積：0.18ha(水田)

実施期間：平成24年9月～平成24年11月

取組のきっかけ：公共施設や住宅等へのコケ緑化普及を展開する県内の企業が、屋根緑化用の「スナゴケ」が栽培できる農地を探していたところ、この相談を受けた地区農業委員が地権者等の調整を行い、耕作放棄地の解消が図られた。

取組主体：農業者

作業内容：耕作放棄地再生利用緊急対策交付金を活用した、草刈りや建設機械による整地作業後に、屋根緑化用のスナゴケの栽培を行った。

今後の予定

耕作放棄地の解消に取り組んだ農業者は、屋根緑化用のスナゴケを継続的に栽培していくこととしている。



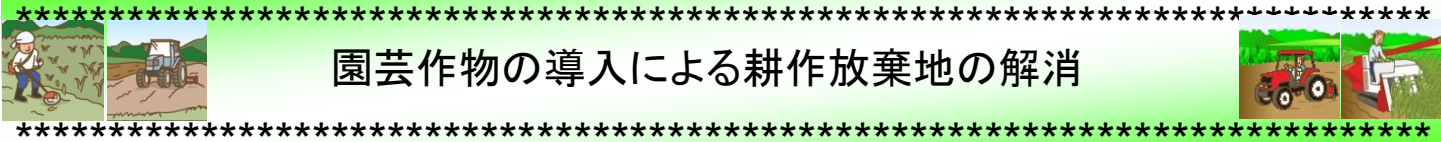
草刈り作業



胞子吹き付け作業



スナゴケの栽培



園芸作物の導入による耕作放棄地の解消

たにでら 砺波市 谷寺地区

状 況

放棄の理由：離農による放棄

荒廃の程度：雑草・灌木が繁茂し、建設機械による再生作業が必要

取組概要

対 象 面 積：0.08ha(水田)

実 施 期 間：平成24年11月～平成25年3月

取組のきっかけ：ほ場整備が図られず、30年以上耕作が放棄されていた本農地において、地区農業委員が美しい農村景観を取り戻そうと地元の生産組合に働きかけを行い、耕作放棄地の解消が図られた。

取 組 主 体：谷寺生産組合

取 組 内 容：耕作放棄地再生利用緊急対策交付金を活用した、建設機械による再生作業後に、アルギットにらの栽培を行った。

今後の予定

耕作放棄地の解消に取り組んだ生産組合は、アルギットにらをはじめ野菜の栽培を行っていくこととしている。



再生作業前



整地作業



アルギットにらの栽培